

## 公司简介

社名：ヤマハ発動機株式会社

創立：1955年（昭和30年）7月1日

資本金：856億66百万円（2011年6月末現在）

代表取締役社長：柳 弘之

従業員数：ヤマハ発動機（株）連結会社計：52,184人（2010年12月末現在）

ヤマハ発動機（株）：4,701億円（2010年12月期）

事業内容：モーターサイクル、スクーター、電動アシスト自転車、ボート、ヨット、ウォータービークル、プール、和船、漁船、船外機、ディーゼルエンジン、四輪バギー、サイド・バイ・サイド・ビークル、レーシングカート用エンジン、ゴルフカー、汎用エンジン、発電機、ウォーターポンプ、スノーモバイル、小型除雪機、自動車用エンジン、産業用ロボット、産業用無人ヘリコプター、車イス用電動補助ユニット、乗用ヘルメット等の製造および販売。各種商品の輸入・販売、観光開発事業およびレジヤ、レクリエーション施設の経営並びにこれに付帯する事業。

关系会社：連結子会社 106社（国内 25社/海外 81社）

持分法適用子会社 6社

持分法適用関連会社 26社

創業以来50年以上にわたり、モノ創りやサービスを通じて多様な価値の創造を追求してきたヤマハ発動機グループ。

ヤマハ発動機グループの「企業理念」は、3つの理念や指針からなりたっています。1つ目は、当社の存在意義である「企業目的」。2つ目は、企業目的実現のための基本姿勢である「経営理念」。また、3つ目は、従業員一人ひとりが常に心がけるべき「行動指針」です。

ヤマハ発動機グループは、「世界の人々に新たな感動と豊かな生活を提供する」ことを目的に、人々の夢を知恵と情熱で実現し、つねに「次の感動」を期待される企業、“感動創造企業”をめざします。

## 〈企業理念〉



### 企業目的

## 感動創造企業

世界の人々に新たな感動と豊かな生活を提供する

人々の夢を知恵と情熱で実現し、  
つねに「次の感動」を期待される企業  
それが、感動創造企業・ヤマハ発動機である。

### 経営理念

## 1. 顧客の期待を超える価値の創造

私たちは、感動を生む価値を創造するために、  
変化する顧客の夢を追求しなければならない。  
顧客の期待を超える、安全で質の高い商品と  
サービスの提供を目指し、適正な利益を得る工夫を  
しなければならない。

## 2. 仕事をする自分に誇りがもてる企業風土の実現

私たちは、個人の自主性から活力を生み出す風土をつくらなければならない。

創造性豊かな人材の育成と能力開発を重視し、公正な評価と処遇が行われる組織を実現しなければならない。

## 3. 社会的責任のグローバルな遂行

私たちは、世界的な視野と基準で行動しなければならない。地球環境や社会との調和に努め、公正で誠実な事業活動を通じて、社会的責任を果たす企業でなければならない。

### 行動指針

#### スピード

あらゆる変化に素早く対応

#### 挑戦

失敗を恐れず、もう一段高い目標に取り組む

#### やり抜く

粘り強く取り組み、成果を出し、振り返る